

学年	教科等	題材名	日時
第6学年	音楽科	演奏のみりよく	平成30年6月26日(火)5校時
本時における「深い学び」	<p>本時における「深い学び」とは、表したいテーマ（思い）に沿った表現を工夫する体験をとおして、演奏の仕方が変わることを実感し、「もっと、表現者によって変わる演奏のよさやおもしろさを味わってみたい」という思いや意図を子ども一人一人がもっている状態である。そのために、題材の導入に一単位時間を使い、十分な体験活動をさせる。更に、その後の感想の交流をとおして「もっと演奏したい」「もっと聴きたい」という思いを溢れさせ、題材の目標や計画（題材全体への思いや意図）を子ども自らが考え、主体的な学習へとつながるようにしたい。</p>		

## 音楽科学習の学びを深めるための思いや意図をもたせる導入の在り方（題材の導入）

### 2種類の「運命」（冒頭5小節）の比較



二つの「運命」のどこが違う？  
それぞれ、どんな運命が待っている予感があるかな？

最初に聴いた方は、伸ばす音の長さが長いです。その先の運命の長さを表しているのだと思います。



後に聴いた方が少し速く聴こえました。何か悪いことがあったけど、すぐに立ち直ってしまう様子をイメージします。



### 表したい運命（思いや意図）に合わせて表現を工夫して演奏する体験

授業中に雷が学校に落ちてしまう運命を表現したいな（思い）。そのためには…雷が落ちる様子を楽器で表せないかな（意図）。



雷が落ちるから、低い音で演奏した方がいいと思うよ（意図）。

私たちは、授業中に雷が落ちる音を、キーボードと太鼓を一緒に弾いて表現したよ。



### 運命のイメージの決定

低い音と言ってもいっぱいあるね。チューバの音が雷のゴロゴロとした感じに合っているかも。

### 表現を工夫して演奏



### 聴きどころと演奏の発表

旋律が鳴る前に、雨が降っている音も鳴らしてみたよ。

## 題材全体への思いや意図へ



同じ曲なのに、表したい思いで、こんなに表現が変わるんだ。おもしろいな。

もし、みんなが同じように演奏していたら？

これからの学習はどうしていきたい？

今回はグループ毎だったから、クラスみんなで工夫して一つの表現をつくり上げてみたいな。



同じだったらおもしろくない。同じ曲なのに表現する人によって変わる演奏をもっと聴いてみたいな。



十分に体験活動をさせたことで、「もっとこうしてみたい。」という題材への思いや意図から、題材の目標を設定することができた。ただし、音楽を形づくっている要素とのかかわりが限定的であった。楽器を限定させるなどの配慮が必要であった。また、終末で全員の思いや意図を十分に汲む時間を大切にすべきであった。

御意見・御質問はこちら（研究部アドレス）

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

# 授業実践計画


## ○ 指導計画（5時間）

- (1) 「運命」の冒頭の表現を工夫し、題材全体への思いや意図をもつ。——1時間（本時）
- (2) 様々な「運命」を聴き、それぞれの違いを感じ取り、表現者の思いや意図を考える。—1時間
- (3) 思いや意図が伝わるような表現の工夫を考え、「語り合おう」を歌唱する。——3時間
  - ・ 歌詞の解釈を生かした主旋律と低声部の歌唱・・・・・・・・・・2
  - ・ 思いや意図が伝わる表現の工夫・・・・・・・・・・1

## ○ 本時の目標

「表現者によって変わる演奏のよさやおもしろさを味わってみたい」という題材全体にかかわる思いや意図をもととする。

## ○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
<p>1 「運命」の冒頭を聴いて、この後にどんな運命が待っている予感がするかについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「運命」の冒頭 </p> <p style="font-size: small;">(とても強く) (原曲はハ長調)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 演奏の違い（速さ、音の長さ等）</li> <li>○ タイトル付け <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(こういう) 運命が待つ予感</span></li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音が伸びてゆっくりだから、なんか先に進みたくない感じがするな。これから始まるのは「学校でテストがある日の運命」かな。</li> <li>・ 激しい音で怒鳴っているようだから、きっと「誰かから怒られる運命」じゃないかな。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 演奏の仕方が異なる2種類の運命の冒頭を聴かせ、何が変化したか問うことで、その音楽を形づくっている要素等の違いに気付かせるようにする。</li> <li>○ タイトル付けをさせることで、運命の冒頭を聴いて感じ取ったことと要素等の変化を結び付けて考えることができるようにする。</li> </ul>
<p>2 グループで、表したい運命のイメージを決めて、それに合わせて表現を工夫し、演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表したい運命のイメージの決定 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(こういう) 運命が待つ予感</span></li> <li>○ イメージに合わせた冒頭の表現の工夫</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>この後に、起こることは…「なんかこれまでに経験したことがない大変なことが起こる感じにしたいな。」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>そのためには、びっくりするぐらい大きな音を出したら「大変なこと」という雰囲気が出る気がする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>大変な感じが出ていると思うよ。もっと音の大きさだけではなくて、音の高さも低くすると、なんか「怖いこと」が起きると感じるんじゃないかな。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽器の数や種類等を限定させないことで、様々な音楽を形づくっている要素等を変化させて表現を工夫できるようにする。</li> <li>○ イメージをもつこと等が難しい子どもにも配慮し、グループで一つの表現を工夫させることで、全員が「思いや意図に合わせて表現を工夫する」という経験ができるようにする。</li> <li>○ 本時は、まだ意図を表現に結び付ける経験が少ないことも考慮し、グループ活動が停滞している場合は、教師が選択肢を示しながら助言をする。その後でさらに「一度に鳴らす楽器の音を変えると音量も変化するよ。」というように具体的に助言をする。</li> </ul>
<p>3 どのような運命が待つ予感を表現したのかについて考えながら、全グループの演奏を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループ毎の演奏</li> <li>○ 感想の交流</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同じ楽譜なのに、思いによって全く表現が変わると思いました。</li> <li>・ 自分は違う運命の物語を想像しました。でも、●班の演奏を聴いたら、●班が考えたように聴こえてきて不思議でした。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発表者は表したいイメージ(思い)を話してから演奏をする。聴き手には相手の思いと演奏の工夫とのかかわりを考えさせる。そうすることで、自分の思いやその演奏との違いに注目して聴くことができるようにする。</li> <li>○ 感想の交流後に、「みんなが同じ演奏だったら？」と尋ね、「つまらない。」「あまり想像が広がらない。」等の言葉を引き出すことで、表現の工夫が演奏のよさやおもしろさにつながることに気付くことができるようにする。</li> </ul>
<p>4 題材全体の目標をもち、題材計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材の目標</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>表現者によって変わる演奏のよさやおもしろさを歌唱や鑑賞とおして味わおう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「この後はどうしていきたい？」と問うことで、「他の曲もしてみたい。」や「プロの演奏はどうなっているか聞いてみたい。」等の本題材への思いや意図を引き出し本題材の目標をもてるようにする。</li> </ul>

## ○ めざす子どもの姿

同じ楽譜を基に演奏をしているのに、表したいことによってこんなに表現が変わるんだな。いつもはただ歌っているけど、思いや意図をもって、それに合わせて表現の工夫をしてみようって演奏の魅力を味わってみたいな。

【態度】

